令和３年度　川上中学校　非違行為根絶への取り組み

＜４月＞
てを体思たがッ。家対大すきい事てのし員ェたるにの認で
つ記めへ認職チっよ会響確が
罰に聞改絶確全フ行に社影をと
新み根を、ルを罰やるさこ
体の読罰い後セク体庭すきるた。

＜５月＞
童報み職
児の読全た。をてセへたたッに
のへのをっ事改ル根を。チトし
校徒」せ行の、ーラいた己ーを
自生書わで去てクハ思し自シ入
・告合員過見スクのに「ク記
「

＜６月＞
ッ含ハ防ア員
チェを一トワ職た。員でれに」が
フ一パメニュ職た職話こラか認
ルシ「スマニュ全しの会「ハの確
セクむラ止ルに研同ははあなあ
セ「ルに配修士早パたどっ
ルを付後の速ワるのた。

＜７月＞
、があ研実る止一認
り生に員育け防ル確
より習る職教おラの再
２学期実す、「にハめを
教育校りで時クた」た。
来た修習セのルし

＜８月＞
け記に児のが行と、がこを
付聞員
み新職た徒暴なるろ連あこし
踏の全し生やれあち・でる認
男児件を付・罰さでも告要を確
事事配童体許為は報重と再

＜９月＞
とつ基し
護にを認よ作な形のな得き
保理料確のが反イっし識が
権管資作報て再柄違ク行楽知と
著情いにた。どの事法かで、らこ
作報て再
情いにた。事法かで、らこ
な権る式でがるた。

＜１０月＞
職員がチェ施自状にがかでた減を
全スを自身観こ職好
トクた。心客む、変た。間持し
のをかき大っ務のたに気に
「スッし身態つでらあ勤へ新
レ」ェ実分の的と員評ま縮ち
ク施自状にがかでた減を
た。心客む、変た。間持し

＜１１月＞
学校長優助全認」なに７てた対ル行
「命場の交っ条導まマ再た。
校最救保確通たにがたニ確認
学長優助全認」なに７てた対ル行
より、人現手
は先「相」など、遭か指
と故のいっ急アも応のっ
事時つあ緊ュ認
通たにがたニ確認
確保確通たにがたニ確認
救保確通たにがたニ確認
助全認」なに７てた対ル行
優助全認」なに７てた対ル行
長優助全認」なに７てた対ル行
校長優助全認」なに７てた対ル行
学校長優助全認」なに７てた対ル行
「命場の交っ条導まマ再た。
場の交っ条導まマ再た。
の交っ条導まマ再た。
交っ条導まマ再た。
っ条導まマ再た。
条導まマ再た。
導まマ再た。
まマ再た。
マ再た。
再た。
た。

＜１２月＞
コロナ禍の機か末、酒及ルいた。
めはた始の転交順確
コロナ禍の機か末、酒及ルいた。
コロナ禍の機か末、酒及ルいた。
コロナ禍の機か末、酒及ルいた。